

# 精神科領域専門医研修プログラム

■ 専門研修プログラム名：自治医科大学附属病院連携施設 精神科専門医研修プログラム

■ プログラム担当者氏名： 須田 史朗

住 所：〒329-0498 栃木県下野市薬師寺 3311-1

電話番号： 0285 - 58 - 7363

F A X： 0285 - 44 - 6198

E-mail： sudash@jichi.ac.jp

■ 専攻医の募集人数：( 5 ) 人

■ 応募方法：

履歴書（形式は自由）を下記宛先に送付の上、面接申し込みを行う。

宛先：〒329-0498

栃木県下野市薬師寺 3311-1

自治医科大学精神医学教室

TEL：0285-58-7364

FAX：0285-44-6198

担当者：塩田勝利（医局長）

■ 採用判定方法：

科長・副科長・医局長が履歴書記載内容と面接結果に基づき厳正な審査を行い、採用の適否を判断する。

## I 専門研修の理念と使命

### 1. 専門研修プログラムの理念（全プログラム共通項目）

精神科領域専門医制度は、精神医学および精神科医療の進歩に応じて、精神科医の態度・技能・知識を高め、すぐれた精神科専門医を育成し、生涯にわたる相互研鑽を図ることにより精神科医療、精神保健の向上と社会福祉に貢献し、もって国民の信頼にこたえることを理念とする。

### 2. 使命（全プログラム共通項目）

患者の人権を尊重し、精神・身体・社会・倫理の各面を総合的に考慮し

て診断・治療する態度を涵養し、近接領域の診療科や医療スタッフと協力して、国民に良質で安全で安心できる精神医療を提供することを使命とする。

### 3. 専門研修プログラムの特徴

自治医科大学精神医学教室は、古くから精神病理学のメッカとして発展に大きな功績を残してきた。その特徴は日常臨床にも強く影響しており、人間学的見地に基づいた詳細な症例検討・診療が教室の根幹となっている。また、研究については個人の志向を尊重する伝統があり、教室は精神病理学、芸術療法（絵画療法・音楽療法）、集団療法、比較文化精神医学、病跡学から、分子精神医学、精神神経薬理学、神経生理学などの生物学的研究と極めて幅広い研究領域を持っており、多種多様な医局員が幅広い領域で活躍している。

プログラムの基幹病院である自治医科大学附属病院は41床の精神科病床と15床の児童精神科病床を有しており、特に大学病院精神科として専門の児童精神科病床がある点に特徴がある。精神科病床は開放病棟（児童精神科は閉鎖）であり、気分障害圏を中心に診療を行うほか、栃木県内、近隣の県からの身体合併症症例、治療抵抗例を幅広く受け入れている。全体的な方針としては、精神疾患は病状が持続すればするほど生物学的次元、心理学的次元の問題が顕在化すると考えられるため、それを回避する「攻めの精神医療の展開」をスローガンとしている。すなわち、早期介入による早期回復を目指した治療を心がけており、専攻医は画像診断、生物学的検査、心理検査、詳細な病歴聴取に基づいた適切なアセスメント、薬物療法、各種精神療法、電気けいれん療法、経頭蓋磁気刺激療法（rTMS）などを組み合わせた最新・最善の治療を学ぶ事ができる。連携施設としては総合病院精神科（上都賀総合病院、佐野厚生総合病院）、公的精神科病院（栃木県立岡本台病院）、単科精神科病院（小山富士見台病院、恵愛会青木病院、社団緑会佐藤病院）を有している。それぞれの施設は特色が際立っており（栃木県立岡本台病院：精神科救急・依存症・医療観察法、小山富士見台病院：精神病理学、恵愛会青木病院：児童思精神医学・訪問診療、社団緑会佐藤病院：芸術療法・老年期症例）、これらの施設で研修を行うことにより、専攻医は精神医学全般について、幅広い研鑽を積むことができる。

今日、医学はヒトゲノム解析、脳機能画像の発展により極めて興味深い生物学、脳科学の知見を多数見出している。われわれは人の治療にあたる医師である以上、こうした最新知見をしっかりと学びつつ、臨床に根ざした研究、治療を進める責務を負っている。そうした動向にあって、人間の生物学的次元と心理社会的次元の交錯点を固有の場とする、精神医

学の役割はますます重要となっている。

## II. 専門研修施設群と研修プログラム

### 1. プログラム全体の指導医数・症例数

- プログラム全体の指導医数：22人
- 昨年一年間のプログラム施設全体の症例数

疾患	外来患者数（年間）	入院患者数（年間）
F0	1697	293
F1	739	138
F2	3968	989
F3	4904	487
F4 F50	3149	218
F4 F7 F8 F9 F50	1374	57
F6	179	20
その他	821	142

## 2. 連携施設名と各施設の特徴

### A 研修基幹施設

- ・施設名：自治医科大学附属病院
- ・施設形態：私立大学病院
- ・院長名：佐田 尚宏
- ・プログラム統括責任者氏名：須田 史朗
- ・指導責任者氏名：須田 史朗
- ・指導医人数：( 6 ) 人
- ・精神科病床数：( 56 ) 床（精神科病床 41 床、児童精神科病床 15 床）
- ・疾患別入院数・外来数（年間）

疾患	外来患者数（年間）	入院患者数（年間）
F0	183	5
F1	75	4
F2	819	43
F3	1720	107
F4 F50	997	72
F4 F7 F8 F9 F50	871	14
F6	13	0
その他	148	17

- ・施設としての特徴（扱う疾患の特徴等）

自治医科大学附属病院は栃木県下野市にある大学病院であり、精神科病床 41 床、児童精神科病床 15 床を有している。高度医療機関として、主に治療抵抗性の気分障害（F3）、神経症性障害（F4）、統合失調症（F2）、身体合併症症例、器質精神障害の治療を行っている。また、難治性精神疾患に対する診断・治療（光トポグラフィー、電気けいれん療法：ECT、経頭蓋磁気刺激療法：rTMS、クロザピン）、児童思春期症例、緩和ケア症例なども幅広く経験することができる。近年では超低体重を来した摂食障害、

成人期発達障害の症例が増加している。本施設は全国でも有数の手術件数を有する特定機能病院であり、生体腎移植、生体肝移植にも力を入れているため、移植前ドナー面接など、特殊なリエゾン・コンサルテーションを経験できることも特徴である。専攻医は画像診断、生物学的検査、心理検査、詳細な病歴聴取に基づいた適切なアセスメント、薬物療法、各種精神療法、各種身体療法などを組み合わせた最新・最善の治療を学ぶ事ができる。

## B 研修連携施設

### ① 施設名：上都賀総合病院

- ・施設形態：公的総合病院（厚生連）
- ・院長名：十川 康弘
- ・指導責任者氏名：衛藤 進吉
- ・指導医人数：（ 1 ）人
- ・精神科病床数：（ 50 ）床
- ・疾患別入院数・外来数（年間）

疾患	外来患者数（年間）	入院患者数（年間）
F0	252	50
F1	29	12
F2	248	48
F3	525	73
F4 F50	219	51
F4 F7 F8 F9 F50	113	3
F6	46	4
その他	18	1

- ・施設としての特徴（扱う疾患の特徴等）

上都賀総合病院は鹿沼市にある公的総合病院であり、精神疾患全般に加え、身体合併症、緩和ケア、リエゾン・コンサルテーションについて学ぶことができる。地理的要因から、合併症を有する措置入院症例を積極的に

受け入れている。病床数は50床であるが、閉鎖病棟と開放病棟の病床数を状況に応じて可変できるユニークな構造となっている。指導責任者をはじめ、非常にスキルの高い精神科医のもとで研修できることが特徴である。認知症疾患センター、デイケアセンターを有している。

② 施設名：佐野厚生総合病院

- ・施設形態：公的総合病院（厚生連）
- ・院長名：奥澤 星二郎
- ・指導責任者氏名：山家 邦章
- ・指導医人数：（ 3 ）人
- ・精神科病床数：（ 51 ）床
- ・疾患別入院数・外来数（年間）

疾患	外来患者数（年間）	入院患者数（年間）
F0	778	91
F1	59	5
F2	652	29
F3	613	44
F4 F50	587	15
F4 F7 F8 F9 F50	4	3
F6	18	1
その他	1	

・施設としての特徴（扱う疾患の特徴等）

佐野厚生総合病院は佐野市にある公的総合病院であり、精神疾患全般に加え、身体合併症、緩和ケア、リエゾン・コンサルテーションについて学ぶことができる。地理的要因から老年期症例（F0）が非常に多い。本施設の特徴は、身体科と精神科の連携が極めて良好であり、指導責任者を中心にチーム医療が進んでいることにある。また、臨床心理士のスキルが高く心理療法が盛んである。デイケアセンターを有している。

③ 施設名：栃木県立岡本台病院

- ・施設形態：公的単科精神科病院
- ・院長名：黒田 仁一
- ・指導責任者氏名：
- ・指導医人数：（ 5 ）人
- ・精神科病床数：（ 267 ）床
- ・疾患別入院数・外来数（年間）

疾患	外来患者数（年間）	入院患者数（年間）
F0	68	24
F1	520	94
F2	1074	341
F3	767	75
F4 F50	6	12
F4 F7 F8 F9 F50	109	28
F6	31	10
その他	461	17

- ・施設としての特徴（扱う疾患の特徴等）

栃木県立岡本台病院は県内の精神科救急を一手に担っている宇都宮市にある公的単科精神科病院である。当施設では、精神科救急治療病棟において急性期精神症状への対応を学び、措置入院、緊急措置入院など司法精神医学的関与を要する患者（F0-F4）の治療を経験する。また、医療観察法病棟があり、アルコール薬物依存症専門医療も行っている。難治性精神疾患に対する治療として、ECT、クロザピン治療を導入している。そのほか、デイケアや訪問看護など社会復帰や地域医療に向けた多職種連携アプローチによる取り組みにも力を入れている。

④ 施設名：小山富士見台病院

- ・施設形態：私立単科精神科病院

- ・院長名：加藤 敏
- ・指導責任者氏名：加藤 敏
- ・指導医人数：( 3 ) 人
- ・精神科病床数：( 197 ) 床
- ・疾患別入院数・外来数（年間）

疾患	外来患者数（年間）	入院患者数（年間）
F0	32	25
F1	4	2
F2	214	226
F3	328	80
F4 F50	349	12
F4 F7 F8 F9 F50		
F6	2	
その他	73	3

- ・施設としての特徴（扱う疾患の特徴等）

小山富士見台病院は下野市にある私立単科精神科病院であり、統合失調症（F2）、気分障害（F3）を中心に多様な精神疾患の治療にあたっている。慢性期病棟において薬物療法に加え、園芸療法を含む作業療法に力を入れている。リハビリ部門では毎日デイケアに40名を超える患者が来ており、アウトリーチも盛んである。多職種参加の病院症例検討会、また精神病理学の研究会を定期的に行っている。当施設では開設以来全ての診療録を保存しており、精神病理学に関する図書が充実しているのが特徴である。

⑤ 施設名：恵愛会青木病院

- ・施設形態：私立単科精神科病院
- ・院長名：青木 楊子
- ・指導責任者氏名：青木 公義
- ・指導医人数：( 2 ) 人



- ・精神科病床数：( 156 ) 床
- ・疾患別入院数・外来数（年間）

疾患	外来患者数（年間）	入院患者数（年間）
F0	146	32
F1	27	12
F2	660	178
F3	653	97
F4 F50	647	48
F4 F7 F8 F9 F50	273	9
F6	53	5
その他	101	7

- ・施設としての特徴（扱う疾患の特徴等）

恵愛会青木病院は足利市にある私立単科精神科病院であり、統合失調症（F2）、気分障害（F3）、神経症性障害（F4）を中心に多様な精神疾患の治療にあたっている。児童思春期症例の豊富さについては県内でも有数の医療機関である。デイケアセンターでは発達障害にも対応しており、集団精神療法なども行っている。アウトリーチにも力を入れており、地域精神医学を学ぶこともできる。

⑥ 施設名：社団緑会佐藤病院

- ・施設形態：私立単科精神科病院
- ・院長名：佐藤 勇人
- ・指導責任者氏名：大澤 卓郎
- ・指導医人数：( 2 ) 人
- ・精神科病床数：( 228 ) 床

・疾患別入院数・外来数（年間）

疾患	外来患者数（年間）	入院患者数（年間）
F0	238	66
F1	25	9
F2	301	124
F3	298	11
F4 F50	344	8
F4 F7 F8 F9 F50	4	
F6	16	
その他	36	97

・施設としての特徴（扱う疾患の特徴等）

社団緑会佐藤病院は矢板市にある私立単科精神科病院であり、統合失調症（F2）、気分障害（F3）、老年期精神障害（F0）を中心に多様な精神疾患の治療にあたっており、認知症治療病床を有している。また、芸術療法（音楽療法・絵画療法）が盛んであり専門的研鑽を積むことができる。退院促進をすすめ、地域移行を積極的に行っている。地域医療への貢献にも力を入れており、輪番による休日診療（内科）も行っている。また、年に一回、関係者、近隣住民を招き夏祭りを開催している。

### 3. 研修プログラム

#### 1) 年次到達目標

専攻医は精神科領域専門医制度の研修手帳にしたがって専門知識を習得する。研修期間中に以下の領域の知識を広く学ぶ必要がある。

1. 患者及び家族との面接
2. 疾患概念の病態の理解
3. 診断と治療計画
4. 補助検査法
5. 薬物・身体療法
6. 精神療法
7. 心理社会的療法
8. 精神科救急
9. リエゾン・コンサルテーション精神医学

10. 法と精神医学
11. 災害精神医学
12. 医の倫理
13. 医療安全管理

各年次の到達目標は以下の通りである。

#### 到達目標

- 1年目：基幹病院（自治医科大学附属病院）で、指導医と一緒に統合失調症、気分障害、器質性精神障害、摂食障害の患者を受け持ち、面接の仕方、診断と治療計画、薬物療法及び精神療法の基本を習得する。とくに面接によって情報を抽出し診断に結びつけるとともに、良好な治療関係を構築し維持することを学ぶ。また、リエゾン・コンサルテーション精神医学を経験し、精神科医に必要な合併症管理、精神症状を生じる器質的症候群の鑑別診断について学習する。精神療法のさらなる習得を目指し認知行動療法、精神分析・精神力動療法の勉強会に参加する。自身の経験した興味深い症例について、集談会や学会（栃木精神医学会、東京精神医学会など）で症例報告を行い討論する。また、精神医学の研鑽を深めるために、指導医とともに、精神神経薬理学、精神生理学、精神病理学のいずれかの研究に従事する。
- 2年目：基幹病院または連携病院で研修を行う。連携病院はより幅広い選択肢の中から専攻医の志向を考慮して選択する。指導医の指導を受けつつ、自立して、面接の仕方、診断と治療計画の能力、薬物療法の技法を向上させる。精神療法としては、認知行動療法と力動的な精神療法の基本的考え方と技法を実践的に学ぶ。また、精神科救急に従事して対応の仕方を習得する。児童・思春期精神障害および神経症性障害、種々の依存症患者の診断・治療を経験する。興味深い症例について、集談会や学会（栃木精神医学会、東京精神医学会など）で症例報告を行い討論する。
- 3年目：主に連携病院で研修を行う。連携病院はより幅広い選択肢の中から専攻医の志向を考慮して選択する。本年度は指導医から自立して診療できるようになることを目標とする。認知行動療法や力動的な精神療法を指導医のもとに実践し、心理社会的療法、精神科リハビリテーション・地域精神医療についても学ぶ。対応の困難な児童・思春期精神障害およびパーソナリティ障害の診断・治療を経験する。興味深い症例について、学会（精神神経学会など）・研究会で積極的に症例発表する。また、指導医とともに、精神神経薬理学、精神生理学、精神病理学のいずれかの研究に従事し、専門医としての更なる研鑽を積む。

## 2) 研修カリキュラムについて

研修カリキュラムは、「専攻医研修マニュアル」(別紙)、「研修記録簿」(別紙)を参照。

## 3) 個別項目について

### ① 倫理性・社会性

基幹施設(自治医科大学附属病院)において他科の専攻医とともに研修会が実施される。リエゾン・コンサルテーションを通して他の身体科との連携を持つことにより、様々な科の専門医や医療スタッフから指導を受けることが可能であり、精神科専攻医としての責任や社会性、倫理観などについて自己研鑽を積む。

### ② 学問的姿勢

専攻医は医学・医療の進歩に遅れることなく、常に研鑽自己学習することが求められる。すべての研修期間を通じて与えられた症例を院内の症例検討会で発表することを基本とし、その過程で過去の類似症例を文献的に調査するなどの姿勢を心がける。その中で特に興味深い症例については、学会等での発表や専門誌などへの投稿を進める。

### ③ コアコンピテンシーの習得

研修期間を通じて、1) 患者関係の構築、2) チーム医療の実践、3) 安全管理、4) 症例プレゼンテーション技術、5) 医療における社会的・組織的・倫理的側面の理解、を到達目標とし、医師としてのコアコンピテンシーの習得を目指す。さらに精神科診断面接、精神療法、精神科薬物療法、リエゾン・コンサルテーションといった精神科医特有のコンピテンシーの獲得を目指す。

### ④ 学術活動(学会発表、論文の執筆等)

基幹施設において臨床研究、基礎研究に従事しその成果を学会や論文として発表する。

### ⑤ 自己学習

臨床で最適な判断を行うためには、患者の生体内、および社会的背景で生じているあらゆる事象を総合的に判断する能力が求められる。その能力のトレーニングに最適な手法はリサーチマインドの獲得であると考えられる。指導医とともに、精神神経薬理学、精神生理学、精神

病理学のいずれかの研究に従事することにより、リサーチマインドを獲得し、自立的に自己学習を進める習慣をみにつける。

#### 4) ローテーションモデル

1年目は基幹病院（自治医科大学附属病院）で研修を行い、精神科医としての基本的な知識、素養を身につける。2年目は、総合病院精神科（自治医科大学附属病院、上都賀総合病院、佐野厚生総合病院）、公的精神科病院（栃木県立岡本台病院）、3年目は公的単科精神科病院（栃木県立岡本台病院）、単科精神科病院（小山富士見台病院、恵愛会青木病院、社団緑会佐藤病院）でそれぞれ専門的研修を積み、身体合併症治療、難治・急性期症例、依存症症例、児童思春期症例、老年期症例、地域移行症例、医療観察法症例などについて幅広く経験する。連携する単科精神科病院はそれぞれの特色が際立っており（栃木県立岡本台病院：精神科救急・依存症・医療観察法、小山富士見台病院：精神病理学・精神科リハビリテーション、恵愛会青木病院：児童思春期症例・精神科リハビリテーション・訪問診療、社団緑会佐藤病院：芸術療法・老年期症例・精神科リハビリテーション）、これらの施設で研修を行うことにより、精神療法、薬物療法を主体とする治療手技、生物学的検査・心理検査などの検査手法、精神保健福祉法や社会資源についての知識と技術を深めることができる。これら3年間のローテート順については、本人の希望に応じた柔軟な対応が可能であり、専攻医の志向、精神科サブスペシャリティー（総合病院精神科、地域精神医療、児童精神医学、老年精神医学、司法精神医学）の希望により研修先を選択する。主なローテーションパターンについて、別紙1に示す。

5) 研修の週間・年間計画  
別紙 2 と別紙 3 を参照。

4. プログラム管理体制について

・プログラム管理委員会

- 委員長 医師：須田 史朗
- 医師：小林 聡幸
- 医師：塩田 勝利
- 看護師：池田 律子
- 臨床心理士：高桑 洋介
- 精神保健福祉士：菊池 彩乃
- 医師：衛藤 進吉
- 医師：山家 邦章
- 医師：黒田 仁一
- 医師：加藤 敏
- 医師：青木 公義
- 医師：大澤 卓郎

・プログラム統括責任者

須田 史朗

・連携施設における委員会組織

各連携病院の指導責任者および実務担当の指導医によって構成される。

5. 評価について

1) 評価体制

自治医科大学附属病院：須田 史朗  
上都賀総合病院：衛藤 進吉  
佐野厚生総合病院：山家 邦章  
栃木県立岡本台病院：黒田 仁一  
小山富士見台病院：加藤 敏  
恵愛会青木病院：青木 公義  
社団緑会佐藤病院：大澤 卓郎

2) 評価時期と評価方法

- ・3 か月ごとに、カリキュラムに基づいたプログラムの進行状況を専攻医と指導医が確認し、その後の研修方法を定め、研修プログラム管理委員会に提出する。

- ・研修目標の達成度を、当該研修施設の指導責任者と専攻医がそれぞれ6ヶ月ごとに評価し、フィードバックする。
- ・1年ごとに年間のプログラムの進行状況並びに研修目標の達成度を指導責任者が確認し、次年度の研修計画を作成する。またその結果を統括責任者に提出する。
- ・その際の専攻医の研修実績および評価には研修記録簿／システムを用いる。

### 3) 研修時に則るマニュアルについて

「研修記録簿」(別紙)に実績を記載し、指導医による形成的評価、フィードバックを受ける。総括的評価は精神科研修カリキュラムに則り、少なくとも年1回おこなう。

基幹施設(自治医科大学附属病院)で専攻医の研修履歴(施設、期間、担当した専門研修指導医)、研修実績、研修評価を保管する。さらに専攻医による専門研修施設および専門研修プログラムに対する評価も保管する。

プログラム運用マニュアルは以下の専攻医研修マニュアルと指導マニュアルを用いる。

- 専攻医研修マニュアル(別紙)
- 指導医マニュアル(別紙)
- ・ 専攻医研修実績記録

「研修記録簿」に研修実績を記載し、一定の経験を積むごとに専攻医自身が形成的評価をおこない記録する。少なくとも年に1回は指定された研修項目各分野について、年次ごとの達成標に従って形成的自己評価を行う。研修を了しようとする年度末には総括的評価により評価が行われる。

- ・ 指導医によるとフィードバックの記録

専攻医自身が達成度の自己評価を行い、指導医も形成的評価を行い記録する。少なくとも年1回は指定された研修項目各分野について、年次ごとの達成標に従って形成的自己評価を行う。評価者は「劣る」、「やや劣る」の評価をつけた項目については必ず改善のためフィードバックを行い記録し、翌年度の研修に役立たせる

## 6. 全体の管理運営体制

- 1) 専攻医の就業環境の整備(労務管理)  
各施設の労務管理基準に準拠する。
- 2) 専攻医の心身の健康管理  
各施設の健康管理基準に準拠する。基幹施設は随時相談に応じる。

- 3) プログラムの改善・改良  
基幹施設の統括責任者、プログラム担当者と連携施設の指導責任者によるプログラム管理委員会で定期的にプログラム内容について討議し、継続的な改良を実施する。
  
- 4) FDの計画・実施  
年1回、プログラム管理委員会が主導し各施設における研修状況を評価する。



別紙1 ローテーションの例

	SR1	SR2	SR3
A	自治医大	総合病院	精神科病院
B	自治医大	上都賀 佐野厚生	佐藤病院 認知症施設
C	自治医大	自治児童（前） 岡本台（後）	青木病院 児童精神科
D	自治医大	上都賀 佐野厚生	富士見台 研究活動
E	自治医大	総合病院（前） 岡本台（後）	岡本台 医療観察法

A：本プログラムの基本研修パターンである。SR2は上都賀総合病院、佐野厚生総合病院、SR3は栃木県立岡本台病院、富士見台病院、青木病院、佐藤病院で研修する。専攻医のニーズに合わせた多様な研修コースを用意している。  
 B：認知症コース C：児童精神科コース D：研究コース E：司法精神医学コース

## 別紙2 週間スケジュール

### ①自治医科大学附属病院

	月	火	水	木	金
8:30 - 9:00	mECT 病棟業務	mECT 病棟業務	mECT 病棟業務	mECT 病棟業務	mECT 病棟業務
9:00 - 10:00	ミーティング rTMS	ミーティング rTMS	ミーティング rTMS	教授回診 治療評価会議	ミーティング rTMS
10:00 - 12:00	コラージュ 療法	外来予診	集団精神療法	リエゾン回診	絵画療法
13:00 - 16:00	外来業務	音楽療法 児童精神科 症例検討会議	症例検討会議	病棟業務	病棟業務
16:00 - 17:00	ミーティング	ミーティング	ミーティング	ミーティング	ミーティング
17:30 - 19:00			集談会	勉強会	勉強会

\*月曜日、火曜日、金曜日のいずれかに外勤あり

※いずれの施設においても、就業時間が40時間/週を超える場合は、専攻医との合意の上で実施される。原則として、40時間/週を超えるスケジュールについては自由参加とする。

②上都賀総合病院

	月	火	水	木	金
8:30 - 8:40	モーニング カンファレンス	モーニング カンファレンス	モーニング カンファレンス	モーニング カンファレンス	週間カンファ レンス
8:45 - 12:00	初診 再診 病棟回診	初診 再診 病棟回診	初診 再診 病棟回診	初診 再診 病棟回診	週間カンファレ ンス リエゾンカンフ アレンス・回診
13:00 - 17:00	再診 救急対応 緩和ケアチー ムカンファレ ンス・回診	再診 救急対応 病棟業務	再診 救急対応 病棟業務	再診 救急対応 病棟業務	再診 救急対応 老健かみつが 回診
17:00 - 18:00	精神科勉強会				
18:00 - 18:30	院内合同カン ファレンス(月 一回)				

③佐野厚生総合病院

	月	火	水	木	金
8:30 - 9:00	病棟業務	病棟業務	病棟業務	病棟業務	病棟業務
9:00 - 12:00	初診 再診 mECT	初診 再診	初診 再診 mECT	初診 再診	初診 再診 mECT
13:00 - 16:00	病棟会議 病棟業務	病棟業務	病棟業務	医局会 病棟業務	病棟業務
16:00 - 17:00	デイケア会 議	病棟業務	病棟業務	病棟業務	病棟運営会 議

④栃木県立岡本台病院  
精神科緊急・救急病棟

	月	火	水	木	金
8:30 - 10:00	回診 カンファレンス	回診 カンファレンス	回診 カンファレンス	回診 カンファレンス	回診 カンファレンス
10:00 - 12:00	病棟業務 外来予診	病棟業務	病棟業務	病棟業務	病棟業務
13:00 - 15:00	病棟業務	音楽療法 病棟業務	症例検討会議	病棟業務	病棟業務
15:00 - 16:00	mECT	mECT	mECT	mECT	病棟業務
16:00 - 17:15	病棟業務	医局クルズス 医局会議 医局カンファレンス	病棟業務	病棟業務	病棟業務

医療観察法病棟

	月	火	水	木	金
8:30 - 8:45	申し送り ミーティング	申し送り ミーティング	申し送り ミーティング	申し送り ミーティング	申し送り ミーティング
8:45 - 10:00	回診 カンファレンス	回診 カンファレンス	回診 カンファレンス	回診 カンファレンス	回診 カンファレンス
10:00 - 12:00	病棟業務 MDT 会議 MDT 面接 治療プログラム 院内ケア会議	病棟業務 MDT 会議 MDT 面接 治療プログラム 院内ケア会議	病棟業務 MDT 会議 MDT 面接 治療プログラム 院内ケア会議	外来予診	病棟業務 MDT 会議 MDT 面接 治療プログラム 院内ケア会議
13:00 - 15:00	病棟業務 MDT 会議	病棟業務 治療プログラム	治療評価会議	病棟業務 MDT 会議	病棟業務 MDT 会議
15:00 - 16:00	MDT 面接 治療プログラム	倫理会議		MDT 面接 治療プログラム	MDT 面接 治療プログラム
16:00 - 17:15	院内ケア会議	医局クルズス 医局会議 医局カンファレンス	病棟業務	院内ケア会議	院内ケア会議

⑤小山富士見台病院

	月	火	水	木	金
8:30 - 9:00	モーニング カンファレンス		モーニング カンファレンス		モーニング カンファレンス
9:00 - 12:00	病棟業務 外来業務	病棟業務 外来業務	病棟業務 外来業務	病棟業務 外来業務	病棟業務 外来業務
13:00 - 16:00	病棟業務 外来業務	病棟業務 外来業務	病棟業務 外来業務	病棟業務 外来業務	病棟業務 外来業務
16:00 - 17:00	入退院カン ファレンス			症例検討会	医局会
18:00 - 19:00				精神病理学 勉強会	

⑥ 恵愛会青木病院

	月	火	水	木	金
8:10 - 8:30		モーニング カンファレン ス			
8:30 - 13:00	病棟業務 外来業務 児童精神科 外来業務	病棟業務 外来業務	病棟業務 外来業務	児童精神科 外来業務 心理プログラ ム	病棟業務 外来業務 脳波判読
14:00 - 16:00	病棟業務 外来業務	病棟業務 外来業務	病棟業務 カンファレン ス	病棟業務 外来業務	医局会 全体集会 薬事委員会 専門研修会 レジデントカ ンファレンス
16:00 - 17:00		地域移行 支援会議	訪問看護会 議		
17:00 - 17:30	児童精神科 ミーティン グ				
18:30 - 19:30				院内勉強会 (月1回)	

⑦ 社団緑会佐藤病院

	月	火	水	木	金
8:30 - 9:00		モーニング カンファレン ス		モーニング カンファレン ス	
9:00 - 12:00	病棟業務 外来業務	病棟業務 外来業務	病棟業務 外来業務	病棟業務 外来業務	病棟業務 外来業務
13:00 - 16:00	病棟業務 外来業務	病棟業務 音楽療法	病棟業務 外来業務	病棟業務 外来業務	病棟業務 外来業務
16:00 - 18:00	入退院カン ファレンス	医局会		症例検討会	



## 別紙2 年間スケジュール

### ①自治医科大学附属病院

4月	新入オリエンテーション SR1研修開始 SR2・3前年研修報告書提出 指導医の指導実績報告提出 研修医グラウンドラウンド
5月	研修医クルズス
6月	日本精神神経学会学術総会参加
7月	東京精神医学会参加 日本うつ病学会参加（任意） 日本神経精神薬理学会参加（任意）
8月	夏期研修期間
9月	日本生物学的精神医学会参加（任意）
10月	SR1・2・3研修中間報告書提出 日本児童精神医学会参加（任意） 日本精神病理学会参加（任意） 精神分析学会参加（任意）
11月	東京精神医学会参加 北米神経科学会参加（任意）
12月	研修プログラム委員会開催
1月	自治医科大学精神医学教室集談会発表
2月	栃木県精神医学会参加
3月	東京精神医学会参加 SR1・2・3研修報告書作成 研修プログラム評価報告書の作成

②上都賀総合病院

4月	新入オリエンテーション
5月	上都賀総合病院精神科家族教室 緩和ケア研修会
6月	日本精神神経学会学術総会参加
7月	鹿沼地区認知症を考える会参加
8月	
9月	上都賀総合病院精神科家族教室
10月	県西保健福祉センター統合失調症家族教室 日本総合病院精神医学会参加 日本サイコオンコロジー学会参加（任意） 日本認知症学会参加（任意）
11月	
12月	研修プログラム委員会 鹿沼地区認知症を考える会参加
1月	上都賀総合病院精神科家族教室
2月	認知症疾患医療センター市民公開講座
3月	研修プログラム評価報告書の作成

③佐野厚生総合病院

4月	新入オリエンテーション
5月	
6月	日本精神神経学会学術総会参加
7月	日本うつ病学会参加（任意） 日本神経精神薬理学会参加（任意）
8月	
9月	
10月	日本総合病院精神医学会参加 精神分析学会参加（任意） 日本精神病理学会参加（任意） 日本認知症学会参加（任意）
11月	日本臨床神経薬理学会参加（任意）
12月	研修プログラム委員会
1月	
2月	
3月	研修プログラム評価報告書の作成

④栃木県立岡本台病院

4月	新入オリエンテーション
5月	栃木県アルコール問題研究会
6月	日本司法精神医学会参加 日本精神神経学会学術総会参加 アルコール依存症臨床医等研修会
7月	栃木県アルコール問題研究会 北関東薬物問題研究会
8月	
9月	栃木県アルコール問題研究会
10月	日本精神科救急医学会参加 日本アルコール・アディクション医学会参加
11月	日本臨床神経薬理学会参加 栃木県アルコール問題研究会 北関東薬物問題研究会 アルコール依存症臨床医等研修会
12月	研修プログラム委員会
1月	栃木県アルコール問題研究会
2月	
3月	研修プログラム評価報告書の作成

⑤小山富士見台病院

4月	新入オリエンテーション
5月	
6月	日本精神神経学会学術総会参加
7月	日本うつ病学会参加（任意）
8月	
9月	日本音楽療法学会学術大会参加（任意）
10月	日本精神病理学会参加（任意） 精神分析学会参加（任意）
11月	日本芸術療法学会参加（任意） 日本総合病院精神医学会参加（任意）
12月	研修プログラム委員会
1月	
2月	栃木県精神医学会参加 精神病理コロッケ参加（任意）
3月	研修プログラム評価報告書の作成

⑥ 恵愛会青木病院

4月	新入オリエンテーション
5月	
6月	日本精神神経学会学術総会参加
7月	県精神衛生協会会員研修会（県精神衛生協会主催）
8月	
9月	
10月	日本児童青年精神医学会参加 精神科学術講演会（日本精神科病院協会栃木県支部主催）
11月	
12月	研修プログラム委員会
1月	臨床と薬理研究会（日本精神科病院協会栃木県支部主催）
2月	栃木県精神医学会参加
3月	日本集団精神療法学会参加（任意） 研修プログラム評価報告書の作成

⑦ 社団緑会佐藤病院

4月	新入オリエンテーション
5月	
6月	日本精神神経学学会学術総会参加 日本老年精神医学会参加（任意）
7月	塩谷地区認知症市民講座 栃木県北精神科学術講演会 県精神衛生協会会員研修会（県精神衛生協会主催）
8月	佐藤病院夏祭り
9月	日本音楽療法学会学術大会参加（任意）
10月	日本認知症学会参加（任意） 日本精神病理学会参加（任意） 精神科学術講演会（日本精神科病院協会栃木県支部主催）
11月	日本芸術療法学会参加（任意） 日本総合病院精神医学会参加（任意）
12月	研修プログラム委員会
1月	臨床と薬理研究会（日本精神科病院協会栃木県支部主催）
2月	栃木県精神医学会参加 漢方学術研究会
3月	精神科病院職員研修会 研修プログラム評価報告書の作成